

# あけぼの通信 第3号

2020. 6. 1 (株)浜田あけぼの水産

## ご挨拶

社長の室崎拓勝です。国内における新型コロナウイルスの新規感染者数は減少傾向にありますが、感染第2波の恐れもあり、皆様不安な日々を送られていると思います。浜田の底びき網漁業界においても、飲食店の休業や自粛によりマダイやヒラメなど消費市場向けの魚種の相場は大幅に下落しております。しかし、幸いなことに、これまで不漁が続いていたケンサキイカやスルメイカなどイカ類の漁況が上向いたことから、総水揚金額でいえばなんとか前年並みを維持できました。天の恵みに感謝しています。浜田の底びき網漁業は6月1日から8月15日までは資源保護のために休漁期間に入ります。この間に船や漁具の手入れをし、資源と乗組員をしっかりと休ませ8月16日からの出漁に備えたいと思っております。

## 漁労長紹介

今回ご紹介するのは、カレイ類の漁獲を得意とする「第五あけぼの丸・第六あけぼの丸」(5AK・6AK)を束ねる宮内省三漁労長です。弊社の船団の中でも特に10~20代の若い船員が多い5AK・6AK。常にピチピチの若い船員達を率いているからか、今年62歳になるとは思えないほど若々しく元気です。若き日に水産高校を卒業してから今日に至るまで、沖合底びき網一筋に魚を追い続けてきた、大ベテラン漁師です。海の上ではカレイや若い漁師たちにとっては鬼のような存在ですが、漁期が終わり陸に上がれば、若い船員達とBBQを楽しんだり、船員達を引き連れて飲みに行くなど、非常に面倒見がよく、若い船員達から慕われています。



## 今月のお魚紹介 「甘鯛 (アマダイ)」

あけぼの通信第1号の「のどぐろ」、第2号の瑞(みず)がれいに続き、第3号では甘鯛(アマダイ)をご紹介します。アマダイはスズキ目キツネアマダイ科アマダイ属に分類され、鯛という語尾はつきますが、マダイなどタイ科の魚とは全く異なる魚種です。京都ではこの甘鯛(あまだい)をグジと呼び、高級料亭では西京漬や幽庵焼き、焙烙



焼などで提供されています。当社では、京都の市場に、鮮度抜群の大型アマダイを開いたものに塩を一振りし、「汐ぐじ」という商品名で出荷しています。

アマダイの仲間は南日本近海では5種が存在し、このうちアカアマダイ、シロアマダイ、キアマダイの3種が重要な食用種となっていますが、アカアマダイが最も多く、普通はこれを甘鯛と呼んでいます。徳川家康公が大変好み、江戸時代には献上魚として大切にされていたそうです。

当社で製造する「甘鯛一夜干し」は、鳥根県浜田沖の漁場で一本釣りで漁獲されたアカアマダイを、水揚げしたその日に下処理をし、浜田の良質な水と薄塩で調べ、冷風乾燥したものです。ほどよい一夜干しの後、急速冷凍して新鮮さを閉じ込めました。上品な美味しさを是非ご堪能ください。

網をよく熱し、冷凍のまま焼いて下さい。解凍してから焼きますと、旨味が落ちてしまいます。食べた後の頭や中骨は、お椀に入れて熱湯を注ぎ、お吸い物にして召し上がれます。

## 浜田近況レポート

新型コロナウイルスは少しずつ勢いを弱めてきており、緊急事態宣言も解除されました。幸いなことに、ここ浜田市で感染者は出ておりませんが、まだまだ油断はできないようです。

浜田港では湿気たっぷりの風が吹き、どんよりとした天気が多くなってきました。そろそろ梅雨がやってくるようです。この時期には紫陽花が鮮やかに咲き始めるのですが、今回は撮影スポットへ行くのは自粛しました(;▽;)



## 生まれたツバメの子供たち

そんな中、これを書いている私の自宅アパートの玄関では、ツバメの子供たちが生まれました！！

この時期になると、毎年このアパートにツバメが巣作りにやってきます。

そして子供たちが生まれ、チュンチュンと賑やかになると、「そろそろ今漁期も終わりだな～」と感じるほどに、恒例となっています。



## 親ツバメ 1 (多分お父さん?)

親ツバメは去年うちから巣立ったツバメでしょうか。玄関灯の上がお気に入りのようで、子供たちに餌を与え一仕事終わると、必ずここで休んでいます(\*'ω'\*)



## 親ツバメ 2 (多分お母さん?)

このアパートの玄関には、なぜかキラキラの飾りがぶら下がっているのですが、もう一匹の親ツバメはここをお気に入りの寝床にしています。

手を伸ばせば届く距離ですが、最近はずっと下を通っても全く逃げません。

静かに見守っていたおかげでしょうか、信頼してくれているようです。



。。。就寝中。。。

寝るときは体に顔を埋めて、モフモフのボールみたいになって寝ています。

風でユラユラと揺れるヒモの上で寝れるなんて、さすがですね。

ただ、毎日ここで寝ているので、重みでだんだんとヒモが伸びてきて、最近はずっと通るときに届かないと、私の頭に当たりそうになってきました(´Д`) (そろそろ結び直してあげようかな…)



ということで、今回はこの時期に浜田へ舞い戻るつばめ一家のご紹介でした。子供たちが元気に巣立ち、来年の漁期が終わるこの季節にまた舞い戻ってきてくれることを楽しみにしています。

## 今月の一句

